



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 ホクト株式会社

コード番号 1379 URL <http://www.hokto-kinoko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水野 雅義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 高藤 富夫

TEL 026-259-5955

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,326	2.6	△1,487	—	△968	—	△695	—
25年3月期第1四半期	10,066	△1.5	△788	—	△892	—	△938	—

(注)包括利益 26年3月期第1四半期 △669百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △935百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△21.88	—
25年3月期第1四半期	△28.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	67,740	43,170	63.6
25年3月期	66,515	45,324	68.0

(参考)自己資本 26年3月期第1四半期 43,097百万円 25年3月期 45,251百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	47.00	57.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	10.00	—	47.00	57.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,500	12.7	△1,740	—	△1,630	—	△1,000	—	△29.98
通期	54,000	11.6	3,400	44.1	3,600	△2.8	2,200	38.9	65.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) ホクトメディカル株式会社

(注)詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	33,359,040 株	25年3月期	33,359,040 株
26年3月期1Q	1,572,700 株	25年3月期	1,580,277 株
26年3月期1Q	31,783,171 株	25年3月期1Q	33,021,898 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) 企業結合関係 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融対策の効果に対する期待感から円安と株価上昇が進行いたしました。しかしながら欧州債務問題や新興国の景気減速、米国経済の復調に伴う金融政策の縮小など海外景気の下振れが懸念され、先行きの不透明な状況が引き続いておりました。また、個人消費につきましても景気の緩やかな回復や雇用情勢の改善に伴い、僅かながら回復の兆しが見えてきたものの、所得層によって景気の回復感も異なり、先行きの不透明な状況となっております。

このような経済環境の中、当社グループは製品の安全性に万全の体制で臨むとともに、各事業におきまして収益の拡大に努めてまいりました。当社グループの中核を占めますきのこ事業におきましては、海外子会社であります台湾北斗生技股份有限公司の第二きのこセンターが通年の出荷となったことや、HOKTO KINOKO COMPANYが稼働率を高めたものの、国内生産では市場の供給が過剰気味であることから生産調整を行ったため、僅かながら生産量は減少いたしました。また、消費者の生活防衛意識は依然として高く、全般的にきのこ単価が振るわなかったことから、売上高は計画を下回る状況となりました。また、化成品事業におきましては、包装資材部門を中心に新規開拓を積極的に行ったものの、厳しい販売環境と原油高による価格転嫁の影響から、計画を下回る状況で推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は103億26百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業損失14億87百万円（同営業損失金額7億88百万円）、経常損失9億68百万円（同経常損失金額8億92百万円）、四半期純損失6億95百万円（同四半期純損失金額9億38百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### [きのこ事業]

きのこ事業におきましては、生産の拡大と品質の向上、販売の強化を中心に業績の拡大に努めてまいりました。生産部門におきましては、昨年より生産を開始いたしました子会社の台湾北斗生技股份有限公司の第二きのこセンターがブナシメジの通年の出荷となったことや、米国のHOKTO KINOKO COMPANYにおきまして全般的に稼働率を高めたことなどから海外子会社におきましては生産量が増加いたしました。しかしながら、国内市場におきましては供給過剰気味であることから生産調整を行ったため僅かながら生産量が減少いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の生産量は、ブナピーを含めブナシメジが10,281 t（同0.3%増）、エリンギ4,715 t（同0.8%減）、マイタケ2,608 t（同4.3%減）となりましたが、ほぼ計画通り推移してまいりました。販売面におきましては、市場における供給が過剰気味であったことに加え、引き続き消費者の生活防衛意識や節約志向などによりきのこ単価が振るわなかったことから、売上高は計画を下回ることとなりました。

以上の結果、きのこ事業全体の売上高は82億19百万円（同4.2%増）となりました。

#### [化成品事業]

化成品事業におきましては、原油価格の高止まりから製品原価が値上がりし、より一層厳しい販売環境となっております。そのような環境の中、包装資材部門を中心とした新規開拓の強化や既存取引先へのきめ細やかな営業を展開し、販売活動を行ってきたことにより、売上高は僅かながら計画を下回り推移いたしました。以上の結果、当事業の売上高は21億6百万円（同3.2%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ①資産の部

資産の部は、677億40百万円となり、前連結会計年度末より12億25百万円増加いたしました。流動資産は141億39百万円となり前連結会計年度末より4億1百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金2億25百万円の増加によるものであります。固定資産は536億1百万円となり、前連結会計年度末より8億23百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産8億60百万円の増加によるものであります。

## ②負債の部

負債の部は、245億70百万円となり、前連結会計年度末より33億79百万円増加いたしました。流動負債は206億98百万円となり前連結会計年度末より32億67百万円の増加となりました。これは主に短期借入金35億円の増加によるものであります。固定負債は38億72百万円となり、前連結会計年度末より1億11百万円の増加となりました。これは主に長期借入金1億3百万円の増加によるものであります。

## ③純資産の部

純資産の部は431億70百万円となり、前連結会計年度末より21億54百万円の減少となりました。これは主に配当金15億4百万円の支払と四半期連結純損失6億95百万円の計上による利益剰余金21億89百万の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、国内の経済情勢が堅調に推移しているものの、不透明な海外景気からくる先行き不安や、雇用情勢の改善にも関わらず個人消費の回復が遅れていること、きのこ市場が暖冬などの天候要因や市場の需給環境に影響されるなど通期の見通しに対し不透明な要因もあることから、平成25年5月17日公表の通期業績予想を据え置くことといたしました。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

ホクトメディカル株式会社は当社と合併したため、当第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,181	4,406
受取手形及び売掛金	4,033	3,966
商品及び製品	1,502	1,545
仕掛品	2,915	2,937
原材料及び貯蔵品	475	445
その他	653	861
貸倒引当金	△24	△24
流動資産合計	13,737	14,139
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,300	42,664
減価償却累計額	△17,332	△17,687
建物及び構築物 (純額)	24,968	24,976
機械装置及び運搬具	24,227	24,921
減価償却累計額	△14,230	△14,892
機械装置及び運搬具 (純額)	9,996	10,028
土地	11,260	11,278
その他	2,059	2,886
減価償却累計額	△1,052	△1,077
その他 (純額)	1,007	1,809
有形固定資産合計	47,232	48,093
無形固定資産	282	275
投資その他の資産	5,262	5,233
固定資産合計	52,777	53,601
資産合計	66,515	67,740
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,307	4,350
短期借入金	7,500	11,000
未払法人税等	1,504	32
引当金	709	440
その他	3,408	4,874
流動負債合計	17,430	20,698
固定負債		
長期借入金	3,521	3,625
資産除去債務	147	155
その他	90	91
固定負債合計	3,760	3,872
負債合計	21,190	24,570

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,695	5,697
利益剰余金	36,776	34,587
自己株式	△2,784	△2,776
株主資本合計	45,187	43,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	481	511
為替換算調整勘定	△417	△421
その他の包括利益累計額合計	63	89
新株予約権	72	72
純資産合計	45,324	43,170
負債純資産合計	66,515	67,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	10,066	10,326
売上原価	8,197	8,929
売上総利益	1,868	1,397
販売費及び一般管理費		
販売手数料	674	692
運搬費	689	728
賞与引当金繰入額	53	58
その他	1,238	1,405
販売費及び一般管理費合計	2,657	2,884
営業損失(△)	△788	△1,487
営業外収益		
受取利息	0	10
受取配当金	36	52
有価証券売却益	—	7
為替差益	—	330
その他	90	136
営業外収益合計	127	538
営業外費用		
支払利息	19	18
為替差損	210	—
その他	1	0
営業外費用合計	231	18
経常損失(△)	△892	△968
特別利益		
受取保険金	2	14
その他	0	0
特別利益合計	2	14
特別損失		
固定資産除却損	5	1
投資有価証券評価損	342	—
その他	37	—
特別損失合計	385	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,276	△955
法人税、住民税及び事業税	94	35
法人税等調整額	△432	△295
法人税等合計	△338	△260
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△938	△695
四半期純損失(△)	△938	△695

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△938	△695
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39	30
為替換算調整勘定	△36	△4
その他の包括利益合計	2	25
四半期包括利益	△935	△669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△935	△669
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(5) 企業結合関係  
(共通支配下の取引等)

1. 取引の概要

①対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 きのこ加工製品(健康食品)販売事業

事業の内容 主としてきのこを原料とするドリンク等の健康食品を通信販売にて提供する事業

②企業結合日

平成25年4月1日

③企業結合の法的形式

ホクト株式会社(当社)を吸収合併承継会社、ホクトメディカル株式会社(当社の連結子会社)を吸収合併消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

ホクト株式会社(当社)

⑤その他取引の概要に関する事項

当社はきのこ総合企業として、きのこの生産・販売・研究活動を複合的に行っていく中で、食材としてのご提供に限らず健康食品としての取り組みを深め、消費者の健康志向への期待により一層応えるため、当社への吸収合併を行うことといたしました。経営資源を集中し、新製品開発や健康効果探求を強化することやノウハウの共有による横断的で幅広い販売展開を行うなど、経営効率の向上をはかるものであります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

## (6) 重要な後発事象

(株式取得による会社等の買収)

当社は、平成25年8月2日の取締役会におきまして、株式会社レリアンより株式会社アーデンの発行済株式の100%を取得することを決議し、株式譲渡契約を締結いたしました。

## ①株式取得の目的

これまで当社は、きのか総合企業としてきのかの生産・販売・研究活動を複合的に行い、食材としてのご提供を中心として、健康食品分野への取組みを含めた事業展開を行ってまいりました。また、現在、米国、台湾、東南アジアなど海外での市場展開を加速させるなど、国内外で幅広い事業展開を進めております。今後、これらきのか事業をより発展させ、戦略的な事業展開や経営効率の向上を図ることを目的として、レトルト食品製造を手掛けている株式会社アーデンの株式を取得し、子会社とすることといたしました。

## ②株式取得の相手会社の名称

株式会社レリアン

## ③買収する会社の名称、事業規模、事業内容等

名 称 : 株式会社アーデン  
 所 在 地 : 長野県小諸市大字森山66番地1  
 代 表 者 : 古市 透  
 資 本 金 : 1,000百万円  
 規 模 : 売上高 4,058百万円 (2013年3月期)  
 事業内容 : カレー、スープなど各種レトルトパウチ食品の製造

## ④株式取得の時期

平成25年8月9日(予定)

## ⑤取得する株式の数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

取得株式数	20,000株		
取得価額	2,100百万円		
取得前の所有株式数	0株	(所有割合	0%)
取得後の所有株式数	20,000株	(所有割合	100%)

## ⑥支払資金の調達及び支払方法

自己資金及び借入金